

安芸地域アクションプランの進捗状況等について

安 芸 地 域 本 部

令和3年2月16日（火）

安芸地域アクションプランの進捗状況等

R3.2.16

安芸地域本部

1 地域アクションプランの令和2年度の実施状況（総括）

(1) 総評

全項目（31項目）について、実行支援チームを編成し、各市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みと歩調を合わせて、市町村や関係団体、民間事業者等との連携・協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進している。

新型コロナウイルス感染拡大により、安芸地域においても、各地で集客イベントの中止が相次ぎ、地域の観光施設や宿泊施設等への入込客数の大幅な減少や、店舗の一時休業・営業活動の停止など、幅広い分野で影響が出ている。依然として、先行きが見通せない状況にあるが、新しい生活様式や社会・経済構造の変化に対応するための新たな取り組みや県市町村の独自の支援策を活用した取り組みなど、地域経済回復に向けた動きも見られている。

農業分野では、ユズについて、青果及び加工玉の生産拡大や品質向上に向けて、栽培講習会の実施のほか、優良系統苗の確保や鳥獣被害の把握などを行っている。ナスについては、生産拡大と産地力の向上を目指して環境制御技術の推進や品質向上に向けた栽培指導などに取り組んでいるほか、付加価値向上に向けて、新規加工品の開発や機能性表示を利用した販売促進に取り組んでいる。

林業分野では、土佐備長炭の生産量拡大を目指すため、新たに森林情報の解析を始めるなど原材料の確保を推し進めるとともに、後継者の育成研修による生産技術の継承を図るなど、地域伝統産業としての基盤整備に取り組んでいる。さらに、林業加工品関係では、馬路地域の林業事業者が経営力強化のために事業計画の見直しや経費縮減を目指した事業戦略の策定に取り組み、事業の維持と雇用の継続に努めている。

水産業分野では、近海マグロの簡易加工品開発や製造体制の構築、加工品製造における衛生管理の推進など、付加価値向上と販路拡大の取り組みを進めている。

商工業分野では、芸西村の特産品であるさとうきびを活用した加工品の開発や販売促進に取り組んでいるほか、室戸市においては、中心市街地振興計画が策定されるなど、中心市街地の活性化に向けた動きが始まっている。

観光分野では、北川村においてモネの庭開園20周年を記念した「ボルディゲラの庭」がオープンするなど、拠点施設の魅力向上が進んでいるほか、体験事業者等による土佐の観光創生塾を活用した着地型観光商品の造成・販売や磨き上げなど、観光コンテンツの充実に取り組んでいる。また、東部地域の食をテーマにした周遊企画も実施しており、安芸地域へのさらなる集客や観光消費額アップに向けた取り組みが推進されている。

(2) 具体的な動き

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 安芸地域のユズを中心とした中山間振興(安芸地域全域)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA高知県(安芸地区)</p> <p>◎・JA馬路村</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 総出荷量(JA高知県)</p> <p>出発点(H27-R元平均):5,079t</p> <p>直近値(R元):5,262t</p> <p>到達目標(R2):5,100t</p> <p>目標(R2-R5平均):5,500t</p> <p>(2) 通販販売額(JA馬路村)</p> <p>出発点(R元.1-12月):8.1億円</p> <p>到達目標(R2):8.5億円</p> <p>目標(R5.1-12月):10億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 総出荷量(R2見込):5,494t(対前年度比104.4%)</p> <p>(2) 通販販売額(R2見込):8.1億円(対前年度比:100%)</p> <p>○生産拡大と品質向上の取り組み(新植・改植の推進)</p> <p>【JA高知県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培講習会の実施(4~9月 8回) ・出荷目慣らし会の開催(10月 4回) ・優良系統の探索について周知(6月 配付資料作成) ・新植・改植にかかる優良系統苗の確保に向けた取り組み <p>(母樹管理指導:5~8月 4回、PT会の開催:8月 1回、R3年供給苗の生育確認:7月 1回、R4年供給苗の穂木確保:8月 随時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害の実態把握と対策検討(実態把握:6/16、7/20、国費事業説明会の開催:8/12、打ち合わせ:9/18) ・園地集約等に関する検討(園地調査:8月 1回、10月 2回、11月 3回) <p>【JA馬路村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地維持に関する検討(園地調査:9月 1回、10月 2回、11月 4回) <p>○安定供給と販路開拓の取り組み</p> <p>【JA高知県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手食品メーカー等との契約継続による販売の安定化(6月)(名古屋、大阪、徳島) ・YouTubeを活用した消費宣伝(ユズ協との連携) ・冬至ユズの消費宣伝(11/23 高知)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市内の小学校数校への青果ユズの提供 (11月 神奈川県) ・青果輸出の実施 3.5t (10/27、11/10) <p>【JA 馬路村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発に向けた取り組み (JA 馬路村) <ul style="list-style-type: none"> (6月) ユズゼリー、花使用の化粧品、 (8月) ユズサイダー、やきにくのタレ (10月) ゆず鍋スープ2種 ・リスティング広告、facebook の利用 (8～9月、10～12月) ・アンテナショップでの消費宣伝 (7月、11月) ・新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金を活用したユズゼリー等充填機械の整備及びECサイトの改修等の実施 (1/19交付決定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実の品質向上と安定供給、販売強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒新植・改植の推進などの取り組みを着実に継続 ・加工品の販売強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒消費者ニーズに沿った商品開発による品揃えの充実 (JA 馬路村) ⇒リスティング広告、facebook 内容見直しによるPR強化 (JA 馬路村)
<p>■No.2 日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト (室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、芸西村)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA 高知県 (安芸地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆめファーム全農NEXT こうち ・(株)アグリード土佐あき ・安芸市担い手支援協議会 ・安芸市施設園芸消費拡大委員会 ・(一社)高知県東部観光協議会 ・(一社)安芸市観光協会 ・安芸商工会議所 ・地元加工業者 ・加工グループ ・地元飲食店 ・地域直販所 	<p>[指標]</p> <p>(1) 出荷量 出発点 (H28.9月～R元.8月平均) : 18,674t 到達目標 (R2) : 19,000t 目標 (R4.9月～R5.8月平均) : 20,000t</p> <p>(2) 新規加工品開発数 出発点 (H29～R元累計) : 2件 到達目標 (R2) : 1件 目標 (R2～R5累計) : 3件</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 出荷量 (R2) : 18,996t (対前年度比 : 98%)</p> <p>(2) 新規加工品開発 (R2見込) : 2件 (安芸グループふぁーむ : フルベジアイス、焼きなすソフトクリーム)</p> <p>○新技術の導入と担い手確保の取り組み</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>※地域産業クラスター関連（日本一のナス産地拡大プロジェクト）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆめファーム全農 NEXT こうちへの高収量生産技術指導 栽培指導（病害虫診断等：4回（4/21、4/22、11/13、11/18）） 土壌養液分析：1回（5/20） 機能性成分に関する情報提供1回（10/7） ・環境制御技術導入農家へのサポート及び新規導入推進 炭酸ガス施用機導入農家のリストアップ：228戸 （5～6月）、改善志向農家の候補者選定37戸（7～9月） ・増収阻害要因の究明と対策：生理障害果対策の啓発6回（4～9月）、難防除病害対策勉強会等10回、個別指導283人（4～9月） ・アグリサポートによる労働力確保（農福連携等） 農福連携研究会：9回（4～12月） ・新規就農者の確保及び経営安定による早期営農定着支援 新規就農者への個別巡回指導：61人延べ183回 （4～11月） 安芸市担い手支援協議会幹事会：9回（4/21、5/28、6/8、6/19、7/14、8/28、10/6、11/30、12/14） 安芸市就農支援チーム会：5回（4/10、5/21、9/4、10/6、11/9） ○新規加工品の開発及び販売 <ul style="list-style-type: none"> ・焼きなすソフトクリームの磨き上げ及びトッピング用クッキーの開発（安芸グループふぁーむ）（6/24、7/9、8/5、9/24、10/26、11/20、12/4） ・加工品のPR及び販路開拓 フルベジアイス（業務用大豆の発酵を活用、卵、牛乳、生クリーム不使用、焼きナス入り）の販売に向けて、大阪大丸内の料理店にサンプル発送（7月）及び東京の料理店（KOMEDA is）の商談会に参加決定（安芸グループふぁーむ） ・安芸の事業者グループによる地域産品のギフト企画でフルベジアイスを販売（11月～） ○ナスの消費拡大と認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市施設園芸品消費拡大委員会HPのリニューアル ・ナスのレシピ動画撮影（6月：3品、12月：2品）、HP及び動画サイトにて公開（7月：1品、8月：1品、9月：1品、1月：2品） ・市内ナス料理等提供店との連携 市内のナス料理等提供店への誘客を目的としたスタン

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>プラリーの企画協議 (8/28、9/14、10/5、10/12、10/14、11/10) (18 店舗参加、スタンプラリー開催期間 11/17~1/31)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能性表示を活用した販売促進 サプリメント用規格外品の出荷 (5t、6/19) 青果の機能性表示届出完了 (9 月) 機能性表示パッケージへの切り替え (1 月以降) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新技術の導入と担い手確保の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の早期経営安定 <ul style="list-style-type: none"> ⇒個々の課題整理と目標設定の共有、個別巡回・面談による栽培及び経営改善指導の実施 ○新規加工品の開発・販売 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で飲食店向け冷凍揚げなすの開発が遅れている (飲食店の営業状況の悪化や委託業者との契約が締結できていない) <ul style="list-style-type: none"> ⇒10 月以降に冷凍揚げなすのニーズ調査を実施予定であったがコロナの影響で業務の動きがないため調査中止 ・コロナ禍における販売方法 <ul style="list-style-type: none"> ⇒テイクアウトできる加工品 (フルベジアイス・焼きなすソフトクリーム) の販売先について検討を継続し、商談会等への参加及び販路開拓のための PR を実施する。 ・加工品の開発に取り組む事業者が少ない <ul style="list-style-type: none"> ⇒東部地域全体に範囲を広げた加工事業者の掘り起こし ○ナスの消費拡大と認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で収穫体験や出前授業が中止となり、十分な PR 活動ができていない。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒レシピ動画制作数を増やすことで PR 強化を図る (目標 10 品) ⇒レシピ動画の閲覧者を増やすための宣伝方法等について検討 ⇒レシピ動画作成スタッフの育成・確保 ・機能性表示食品(サプリメント)向け原材料の安定取引 <ul style="list-style-type: none"> ⇒必要な原材料を供給出来る体制づくり

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.3 東洋町のポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興(東洋町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・フクチャン FARM</p> <p>◎・東洋町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンカン生産者 ・甲浦の果樹仲間 	<p>[指標]</p> <p>(1) 商品開発 出発点 (H28～R 元累計) : 15 商品 到達目標 (R2) : 1 商品 目標 (R2～R5) : 4 商品</p> <p>(2) 商品の販売数 出発点 (H30.1～12月) : 6,574 個 直近値 (H31.1～R 元.12月) : 7,949 個 到達目標 (R2) : 8,000 個 目標 (R5) : 8,400 個</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 商品開発 (R2 見込) : 0 商品 (2) 商品の販売数 (R2 見込) : 7,460 個 (対前年度比 : 93.8%)</p> <p>○東洋町のポンカン生産維持に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町ポンカン振興対策協議会の設立 (8月) ・担い手確保に係る先進地視察 (2回) ・公式ホームページの開設 (12月) ・県内量販店によるポンカンの特別販売の実施 (1月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発や販売先の拡大 ⇒各種アドバイザーの活用、商談会等への出展の強化 ・担い手確保によるポンカン生産の維持 ⇒先進地視察など担い手確保に向けた各関係機関との連携強化、地域おこし協力隊などによる担い手確保
<p>■No.4 白玉糖の生産拡大と新商品の開発(芸西村)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・芸西村製糖組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・集落活動センターげいせい ・(有)かっぱ市 ・生産者グループ 	<p>[指標]</p> <p>村内サトウキビ収穫量 出発点 (H30) : 19t 直近値 (R 元) : 22t 到達目標 (R2) : 20t 目標 (R5) : 25t</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>村内サトウキビ収穫量 (R2 見込) : 27t (対前年度比 128.6%)</p> <p>※今年度よりロイヤルホテル土佐のサトウキビの収穫が始まったため増加している。</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○マニュアルの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サトウキビ栽培マニュアル作成に向けた意見交換会 (4月) <p>○衛生面の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HACCP研修を製糖組合員が受講 (7月) <p>○体験メニューの実施・磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かっぱ市と芸西村製糖組合の意見交換会 (4月) ・体験メニューのネット予約フォームを作成し、芸西村HPへ掲載 (6月) ・土佐の観光創生塾を製糖組合員が受講 (6、7、9、10月) ・県外修学旅行生10名の受入 (9月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製糖作業時における衛生環境の向上 ⇒手引書に基づいた衛生管理の徹底 ・体験メニューの磨き上げと新たなメニューの開発 ⇒他事業者との連携の検討
<p>■No.5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 (室戸市、東洋町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・室戸市木炭振興会 ◎・土佐備長炭室戸生産組合 ◎・土佐備長炭生産組合 ◎・上土佐備長炭東洋組合 ◎・備長炭生産者 <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・東洋町 	<p>[指標]</p> <p>生産量</p> <ul style="list-style-type: none"> 出発点 (H30) : 1,284t 直近値 (R元) : 1,310t 到達目標 (R2) : 1,384t 目標 (R5) : 1,534t <p>[取り組み状況]</p> <p>生産量 (R2.12月末) : -</p> <p>※生産量については、生産者への聞き取り調査では把握できないため、「高知県の特産林産」の統計値を使用しており、次年度の秋以降に判明する。</p> <p>○新規就労者の確保 (研修生の受入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規受入 (募集中) : 室戸市3人、東洋町2人 ・実施中 : 室戸市2人、東洋町3人 ・R2年度新規研修生面接実施 (6/9 : 室戸市) ・生産組合、備長炭生産者への個別訪問等 (4/3・7、5/7・18、6/25、7/21・22、8/3・28、9/1・4・8・15~18・25、10/7) <p>○原木林の造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カシノナガキクイムシ被害防除事業と被害対策協議会

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>への支援 (4/7、5/18・27、6/30、7/1・16・27、8/6・11・21・25・31、9/4・29、10/15・16・28、11/6・10・19・24)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林情報解析の支援 (8/3、10/7) ・ウバメガシへの林種転換にかかる働きかけ (11/7) ・被害対策協議会の開催 (12/3) <p>○生産施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来春までに新規製炭窯 (4基) を増設予定 ・新設窯に要する費用への支援策を情報提供 (9/25、10/14) <p>○製炭用原木の調達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木伐採のための作業道開設支援事業説明会 (8/7) ・公有林の払い下げにかかる働きかけ (11/17) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響による生産量調整 ⇒ 今後は生産量の調整が予測されるため、生産者の経営状況を注視し資金確保等の支援策について情報提供 ・製炭用原木の調達 ⇒ 原木伐採のための作業道開設への支援 ⇒ 公有林の払い下げ、ウバメガシへの林種転換にかかる働きかけ ⇒ 森林情報の解析に着手 (9月)
<p>No.6 馬路の林業加工品の販売促進 (馬路村)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(株)エコアス馬路村 ◎・馬路林材加工協同組合 ・馬路村森林組合 	<p>[指標]</p> <p>(1) 木製品出荷額</p> <p>出発点 (H30) : 1.78 億円 直近値 (R元) : 2.06 億円 到達目標 (R2) : 1.92 億円 目標 (R5) : 2.13 億円</p> <p>(2) 雇用者数 (加工部門)</p> <p>出発点 (H30) : 22 人 直近値 (R元) : 21 人 到達目標 (R2) : 22 人 目標 (R5) : 22 人 (現状維持)</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 木製品出荷額 (R2.12月末) : 158,590 千円 (対前年同期比 : 95.7%)</p> <p>(2) 雇用者数 (加工部門) (R2.12月末) : 20 人 (対前年同期比 : 90%)</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・経営コンサルによる馬路林材加工協同組合の事業計画への支援(県産材加工力強化事業)(4/24、5/26、6/22、7/20、8/17、9/14、10/21、11/19) ・実施主体への個別訪問(4/8、5/25、6/22、7/10・27、8/20、9/14) <p>○収益性の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質や生産性の向上を図るため、加工機械(モルダー)の導入を検討(8/20) ・R3年度支援事業に関する情報提供・要望の取りまとめ(9/14) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響による売上減 <ul style="list-style-type: none"> ⇒市場の木材動向は鈍く木材価格が落ちており、事業計画の見直し、利益率が高い製品の販売促進、経費縮減を実施 ⇒自社HPを活用した直販や林業部門の取り組みによる利益率の改善
<p>■No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大(室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・美阿丸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐室戸鮪軍団 ・室戸市定置漁業振興協議会 ・中芸定置網漁業振興協議会 <p>◎・(有)タカシン水産(佐喜浜工場)</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 漁業者による加工品販売額</p> <p>出発点(H30): 45万円</p> <p>直近値(R元): 50万円</p> <p>到達目標(R2): 147万円</p> <p>目標(R5): 300万円</p> <p>(2) 水産加工業者による加工品販売額</p> <p>出発点(H30): 1億円</p> <p>直近値(R元): 0.85億円</p> <p>到達目標(R2): 1.08億円</p> <p>目標(R5): 1.2億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 漁業者による加工品販売額(R2.11月末): 85万円 (対前年同期比: 226%)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響により、前年より減少している。</p> <p>(2) 水産加工業者による加工品販売額(R2.11月末): 0.58億円(対前年同期比: 97%)</p> <p>○漁業者による加工品の製造販売</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・製造体制に関する協議 (4回) ・加工場建設支援に関する室戸市との協議 (2回) ・加工事業に関する商工会との協議 (2回) ・加工場建設に向けた事業計画の作成に着手 <p>○水産加工業者による加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興推進総合支援事業費補助金 (ステップアップ事業 (通常分)) の活用による商品開発及び HACCP 対応の基本設計支援 (～3月) ・新商品開発に関する協議 (1回) ・新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金を活用した県版 HACCP 第3ステージに求められる衛生管理基準を満たすために必要な施設改修及び機器設備の設置 (12/21 交付決定) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○漁業者による加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の開拓、商品開発、事業計画 (加工場) の作成 ⇒マグロ以外の地元商材を使用した新商品の開発、室戸市や商工会と連携した事業計画の作成 <p>○水産加工業者による加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍対策 ⇒ホテルや飲食店向けの売り上げ減少をカバーする新商品の開発や販路開拓の推進 ⇒商品の内製化 (ネギトロ製造機の導入) による新商品の開発、EC サイトでの販路開拓の推進 ・衛生管理体制の構築 ⇒HACCP に対応した施設整備の検討等 ⇒来期より実施主体に追加予定事業者について県版 HACCP 第3ステージの取得のため施設整備を実施し新たな販路を開拓
<p>■No. 8 室戸海洋深層水による地域産業の推進 (室戸市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・深層水関連事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 	<p>[指標]</p> <p>スジアオノリの生産量 (高岡漁港)</p> <p>出発点 (H30) : 3.3t</p> <p>直近値 (R元) : 3.7t</p> <p>到達目標 (R2) : 3.4t</p> <p>目標 (R5) : 3.6t</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>スジアオノリの生産量 (高岡漁港) (R2 見込) : 3.8t (対前年度比 : 102.7%)</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○スジアオノリ養殖事業の円滑な運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スジアオノリの高生産及び高品質化に関する研究 <p>○深層水商品のブランド化による販売力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外等でのイベント出展に向けた情報収集 ・県内イベント出展への支援 <p>○海洋深層水を活用した新たな地域振興の取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会の開催(4月1回) ・海洋深層水を活用した地域振興に向けた構想づくりの委託料を室戸市が予算化 ・産業振興推進総合支援事業費補助金(ステップアップ事業(通常分))の活用による室戸市海洋深層水推進構想策定支援(11月) ・室戸市海洋深層水推進構想検討委員会の開催(12/10～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スジアオノリの増産に必要な土地や人員の確保 ⇒必要な情報収集の継続 ・海洋深層水の機能性を生かした商品開発・販路拡大 ⇒企業による研究開発の推進 ・海洋深層水を活用した地域振興に向けた構想の早期とりまとめ、具体化に向けた対応 ⇒構想の具体化に向けた支援策の検討、提案
<p>■No.9 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大(室戸市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・協同キラメッセ室戸(有)</p> <p>◎・室戸市</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 売上高</p> <p>出発点(H30):4.1億円</p> <p>直近値(R元):3.5億円</p> <p>到達目標(R2):4.14億円</p> <p>目標(R5):4.2億円</p> <p>(2) レジ通過者</p> <p>出発点(H30):251,612人</p> <p>直近値(R元):232,296人</p> <p>到達目標(R2):254,000人</p> <p>目標(R5):260,000人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 売上高(R2.12月末):2.16億円(対前年同期比:92%)</p> <p>(2) レジ通過者(R2.12月末):157,346人 (対前年同期比:87%)</p> <p>※新型コロナウイルスへの対応のため、4/18～5/17まで休業</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○集荷体制の強化、実証圃の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市農村集落活性化協議会総会（6/26）を開催し、庭先集荷、実証圃について協議 <p>○加工品の開発、販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税返礼品の活用 H29:102,340千円⇒H30:136,260千円⇒R元:83,116千円⇒R2（12月末暫定）30,196千円 ・SNSを活用した情報発信（随時） ・加工品取扱先の拡大（アグリコレット、レストパークいの等） ・HACCP研修参加による従業員教育の実施（10月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物出荷者の高齢化に伴う集荷体制の強化 ⇒庭先集荷のルート、集荷頻度の改善を検討 ・加工品や農作物（特に夏場）等の商品不足 ⇒実証圃（ハウレン草・イチゴ）の継続 ・コロナ禍の影響による売上高減少の可能性 ⇒オンライン販売強化（自社ECサイト充実や室戸市ECサイトの活用等）
<p>■No.10 室戸市中心市街地の活性化（室戸市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・室戸市商工会</p> <p>◎・室戸市</p>	<p>[指標]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業</p> <p>出発点（R元）：－</p> <p>到達目標（R2）：0件</p> <p>目標（R2～R5累計）：2件</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業（R2.10月末）：2件</p> <p>○新たに策定された中心市街地振興計画に基づく取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市中心市街地振興計画策定（6月） ・室戸市中心市街地振興協議会開催（6月、2月） <p>○新規出店者の育成（チャレンジショップ事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップ出店事業 →4事業者出店（H30～R2.10月末時点累計） <p>○賑わいの創出（イベント実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちゼミの開催（4月） →4店舗参加 参加者15人

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の人口減少や空き店舗の増加などによる商店街の魅力低下 ⇒新規出店者の育成 (チャレンジショップ) ⇒賑わいの創出 (イベント実施) ⇒地域おこし協力隊等の採用による担当者確保 ・ 中心市街地振興計画に基づく取り組みの着実な推進 ⇒商工会や室戸市、県などで構成される中心市街地振興協議会による PDCA の実施
<p>■No. 11 安芸本町商店街を中心とする地域の活性化 (安芸市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・安芸本町商店街振興組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸商工会議所 ・安芸市 	<p>[指標]</p> <p>空き店舗等を活用した新規開業</p> <p>出発点 (H30) : 0 件</p> <p>直近値 (R 元) : 0 件</p> <p>到達目標 (R2) : 0 件</p> <p>目標 (R5) : 3 件 (R2~R5 累計)</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>空き店舗等を活用した新規開業 (R2 見込) : 0 件</p> <p>○活性化に向けた方向性の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一回ワークショップ (R2.2 月) での意見を整理し、今後の協議に向けたたたき台として理事会に提案 (11 月) <p>○イベント等の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内事業者グループによる地域産品のコラボギフトの通販企画協議 (6/24, 8/24, 9/7, 10/21, 10/30, 11/16) 通販の開始及びカタログの配布 (11 月) ・ GoTo 商店街を活用したスタンプラリー及び商い甲子園パネル展の実施を検討 (→コロナ感染拡大に伴い GoTo 商店街事業の停止が決定したため、当該企画も中止) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街等振興計画の策定 ⇒ワークショップを継続して行い、今後取り組みたい具体的事業の検討を進める。 ⇒商店街活性化協議会 (仮称) の設置 ・ 商い甲子園の次年度開催に向けた検討 ⇒コロナ禍における新しい生活様式等に対応した開催方法や実施の可否について協議・検討

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興 (東洋町)</p> <p>《実施主体》 ・東洋町</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 売上高 出発点 (H30) : 1.68 億円 直近値 (R 元) : 1.68 億円 到達目標 (R2) : 1.71 億円 目標 (R5) : 1.76 億円</p> <p>(2) 来場者数 出発点 (H30) : 177,809 人 直近値 (R 元) : 175,666 人 到達目標 (R2) : 181,382 人 目標 (R5) : 187,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 売上高 (R2 見込) : 134,518 千円 (対前年度比 : 80.4%) (2) 来場者数 (R2 見込) : 141,016 人 (対前年度比 : 80.3%) ※新型コロナウイルスへの対応のため 4/20~5/7 (レストランは 5/14) まで休業</p> <p>○魅力的な店舗づくり、情報の発信 ・日曜市 (れんけいこうちブース) への出店 (6/21、8/23、11/1) ・自主イベントの検討・計画、町外事業者への出店依頼</p> <p>○加工品の開発・販売 ・ボンカンピール入りチョコレート・クッキー等の開発・販売 (11 月)</p> <p>○コロナ感染症対策 ・新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金を活用した自動ドアの設置ならびにキャッシュレス決済対応レジの導入 (12/2 交付決定)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・店舗の狭隘対策 ⇒レイアウト変更などに向けた各種アドバイザーの活用及び関係者間協議</p> <p>・特産品の開発 ⇒新たな加工品開発・生産のためのアドバイザー活用及びセミナー受講の検討</p> <p>・集客強化 ⇒イベントの開催及び誘致 ⇒レストランのメニューの見直し</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(一社)なはりの郷 ◎・奈半利町 ◎・奈半利なんでも市加工グループ ◎・NCL48 <ul style="list-style-type: none"> ・JA高知県(安芸地区) 	<p>[指標]</p> <p>(1) JA加工施設(奈半利味噌)の売上高 出発点(H30):677万円 直近値(R元):775万円 到達目標(R2):768万円 目標(R5):912万円</p> <p>(2) 農水産加工施設の店舗売上高 出発点(R元見込):800万円 直近値(R元):935万円 到達目標(R2):825万円 目標(R5):900万円</p> <p>(3) 集出荷センター取扱高 出発点(R元.7月~R2.6月見込):5.4億円 到達目標(R2.7月~R3.6月):5.55億円 目標(R5.7月~R6.6月):6億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) JA加工施設(奈半利味噌)の売上高(R2見込) :697万円(対前年度比:90%)</p> <p>(2) 農水産加工施設の店舗売上高(R2見込) :1,243万円(対前年度比:133%) ※昨年度途中から店舗営業日を週3日から週4日に増やしたため。</p> <p>(3) 集出荷センター取扱高(R元.7月~R2.6月) :4.9億円(前年度比:20%) ※ふるさと納税取扱高が減少したため。</p> <p>○JA加工施設(奈半利味噌)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工グループ、関係機関と協議(R2.12月末):3回 ・ふるさとまつりへの出店(11月) <p>○農水産加工施設・加工グループ、関係機関との協議(R2.12月末):27回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とさのさとアグリコレットへの出品 ・地のもん市場ハレタとの取引開始(10月~) ・ふるさとまつりへの出店(11月) <p>○集落活動センター運営体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会を開催し、奈半利町と運営について協議(12月末):9回 ・うちんくのビジネス塾への参加(12月~) <p>○農作業受託・新規就農者受入等の推進</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業受託状況 (12月末) 畦塗り16件/耕起87件/田植13件/稲刈・運搬18件/その他17件 農作業オペレーター登録者 (12月末) : 30名 ・不耕作地解消事業 ジャガイモ、胡瓜、無花果、米の栽培・出荷 ・施設園芸 なはりの郷の自社ハウスでのナスの栽培・出荷 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農水加工施設の売上高の確保 ⇒とさのさとアグリコレットへの出品の継続 ⇒なはりの郷の通販サイトを活用した販路の拡大 ⇒各種アドバイザーを活用した商品の磨き上げ ・(一社)なはりの郷の不採算事業の収支改善 ⇒アドバイザーを活用した収支改善策の検討
<p>■No. 15 田野町の完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用 (田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>◎・田野町</p> <p>・民間事業者</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 体験施設受入人数 出発点 (H30) : 269人 直近値 (R元) : 421人 到達目標 (R2) : 490人 目標 (R5) : 700人</p> <p>(2) 塩関連での就業者数 出発点 (H30) : 2人 直近値 (R元) : 2人 到達目標 (R2) : 2人 目標 (R2~R5累計) : 10人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 体験施設受入人数 (R2見込) : 62人(対前年度比 : 15%) ※新型コロナウイルスへの対応のため5/24まで休館、5/25から再開、8/1から休館、10/7から見学のみ再開</p> <p>(2) 塩関連での就業者数 (R2見込) : 2名 (対前年度比 : 100%)</p> <p>○体験施設受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県観光ガイド協議会事業を活用したガイドに対する研修の実施 (6月) <p>○新規就業者の育成・新規研修生2名の受入 (4月~)</p> <p>○関連産業への波及</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅田野駅屋」で完全天日塩を使用した塩ラーメンを期間限定で販売開始(6月) ・中芸の鮎の唐揚げと塩二郎の茶塩を楽しむ会の開催(9月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町と関係者間での連携体制の強化 ⇒研修生の受入、育成、独立後の環境整備に向けた関係者間での協議 ・関連産業への波及 ⇒「道の駅田野駅屋」等と連携して、完全天日塩を活用した新メニュー開発 ・集客のためのPR(体験施設) ⇒町HP等で情報発信 ・製塩体験プログラムの磨き上げ ⇒ガイド内容の習熟に向けての検討
<p>■No.16 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取り組み(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・道の駅指定管理者(たの未来プロジェクト(株)) ◎・田野町 <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設指定管理者(中芸食材工房) ・生産者組織 ・地域団体 	<p>[指標]</p> <p>(1)年間店舗売上高(1~12月) 出発点(H30):2.7億円 直近値(R元):2.8億円 到達目標(R2):2.8億円 目標(R5):2.8億円</p> <p>(2)年間入込数(1~12月) 出発点(H30):278千人 直近値(R元):280千人 到達目標(R2):284千人 目標(R5):300千人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)年間売上高(R2見込):2.4億円(対前年度比:86%) (2)年間入込数(R2見込):224千人(対前年度比:80%) ※新型コロナウイルスへの対応のため4/25~5/6まで休業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外商の拡大に向けた地産外商公社等への田野駅屋野菜情報の提供(月1回) ・完全天日塩を使用した塩ラーメンを期間限定で販売開始(6月) ・「あなたのシイラない魚介」キャンペーンへの参加(7~9月)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・中芸の鮎の唐揚げと塩二郎の茶塩を楽しむ会の開催 (9月) ・「ひがしこうち DE ゆずラリー」への参加(11~1月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる集客アップに向けた戦略づくり ⇒販売増を目指した広報強化の検討 ・直販・飲食機能の強化 ⇒完全天日塩などを活用した新メニュー開発
<p>■No. 18 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化(芸西村)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(有)かっぱ市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・生産者グループ 	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点(H30): 1.4億円</p> <p>直近値(R元): 1.38億円</p> <p>到達目標(R2): 1.48億円</p> <p>目標(R5): 1.5億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R2見込): 140,355千円(対前年度比: 101.9%)</p> <p>○外商活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で打撃を受けていた花卉農家と連携し、ふるさと納税に花束を出品(4月)⇒108個販売 <p>○経営戦略の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化サポートセンターによる支援を得て、経営状況の確認、経営戦略の検討、レイアウト変更の検討(7月、9月) ・店内レイアウトの変更(1月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンパワー不足による運営体制の弱体化 ⇒専門家の助言に基づく経営戦略の作成や人材確保センターとの連携による人員確保
<p>■No. 19 安芸地域の観光振興の推進(安芸地域全域)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)高知県東部観光協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 	<p>[指標]</p> <p>(1) 圏内主要施設訪問者数(1~12月)</p> <p>出発点(H30): 2,454,671人</p> <p>直近値(R元): 2,495,024人</p> <p>到達目標(R2): 2,522,768人</p> <p>目標(R5): 2,606,000人</p> <p>(2) 圏内宿泊者数(1~12月)</p> <p>出発点(H30): 142,741人</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域団体 ・ 民間事業者 	<p>直近値 (R 元) : 145,647 人 到達目標 (R2) : 146,735 人 目標 (R5) : 150,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 圏内主要施設訪問者数 (R2 見込) : 1,836,403 人 (対前年度比 : 73.6%) ※新型コロナウイルスの影響により、前年より減少している。</p> <p>(2) 圏内宿泊者数 (R2 見込) : 88,124 人 (対前年度比 : 60.5%) ※新型コロナウイルスの影響により、前年より減少している。</p> <p>○組織体制の強化と関係団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高知東部食プロジェクトによる食をテーマとした周遊企画実施 (シイラ : 7/10~11/30、ゆず : 11/1~1/31) ・ 体験型観光事業者向け「新型コロナウイルス対応ガイドライン」の策定 (6月) ・ 「ひがしこうち DMO」の確立に向けたコアメンバー会議開催 (7/21、2/3) ・ 市町村及び観光協会と DMO の戦略及び取り組みを共有するためのワーキンググループ開催 (8/13、11/30) ・ 観光地域づくり塾への参加 (協議会 2 名 関係事業者 3 名) (塾 / 7~8 月 : 4 回 分科会 / 9~11 月 : 4 回) ・ 高知県観光地域づくり体制強化事業により高知県観光地域づくり推進員を配置 (10/16) <p>○戦略的な広報・PR 活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高知龍馬空港に電子版の広告掲出 (4~3 月) ・ 高速道路サービスエリアでのパンフレット配架 (5~8 月 : 6 箇所、6~8 月 : 1 箇所、12~3 月 : 1 箇所) ・ 公式ホームページの改修 (6 月~改修、1/18 リニューアルサイトオープン) ・ 大阪メトロ御堂筋線つり革広告掲出 (R2. 6~R3. 3 月) ・ 東部地域のエリア別パンフレット 3 種類作成 (9/30) <p>○着地型商品の造成・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの影響を受けている体験型観光事業者への支援 (6~7 月 : 一律 10 万円 8 団体) ・ 県外旅行会社等へのセールス活動 (7 月 : 関西 2 社 四国内 15 社、10 月 : 中国 14 社)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社バスツアーへの助成（貸切バス：一般5件、教育6件、視察助成：1件） ・体験プログラム実施事業者への助成（4件） ・土佐の観光創生塾への参加を呼びかけ、東部観光協議会職員も参加（6/29、7/7）（東部地域からの申込者数35人、受講生による商品造成販売数（～11月）17件） <p>○教育旅行の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社へのセールス活動（関西/7月：高知県との同行30社、中四国/12月：高知県との同行28社） ・安全管理マニュアル作成セミナー参加（7/15） ・中学校6校受入（9～11月：東部での体験受入、宿泊はホテル泊） <p>○サイクリングによる東部観光の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸・室戸パシフィックライド2020 実行委員会（5月：書面決議、9月：書面決議にて中止を決定） <p>○インバウンド対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語・繁体字版ホームページ作成（6月～作成中） ・訪日グローバルキャンペーン等に対応したコンテンツ造成事業に連携DMOとして参画（7月～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひがしこうちDMO」の観光戦略に基づく事業推進 ⇒県の観光地域づくり塾を活用した域内消費を増やす取り組みの計画策定 ⇒マーケティング調査の実施・分析とフィードバック ⇒コアメンバー会議を主体とした商品造成・磨き上げ ・ターゲット層やターゲットエリアを意識した戦略的な広報・PR活動の展開 ⇒WEBサイトやSNSに関するアクセス分析・PRへの活用 ・観光需要回復に向けた取り組みの推進 ⇒国のGoToトラベルキャンペーン及び県のリカバリーキャンペーン他コロナ対策事業及び同事業と連動したプロモーションの実施 ⇒高知市内でのイベントへの出展等によるPR活動
<p>■No. 20 日本遺産を活用した中芸地域の活性化（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会</p>	<p>[指標]</p> <p>中芸地域主要施設訪問者数</p> <p>出発点（H30）：537,560人</p> <p>直近値（R元）：539,718人</p> <p>到達目標（R2）：540,000人</p> <p>目標（R5）：550,000人</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 奈半利町 ・ 田野町 ・ 安田町 ・ 北川村 ・ 馬路村 ・ 中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 	<p>[取り組み状況]</p> <p>中芸地域主要施設訪問者数実績 (R2 見込) : 399,391 人 (対前年度比 : 74%)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響により、前年より減少している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦略会議の開催 (6/25、11/4、12/21) ・ JAL 機内誌「スカイワード」での特集 (6月) ・ 地域の魅力イベント「ゆずフェス」開催に向けた協議 (6/12、6/24、7/28、10/27、11/13、11/18、11/24) ・ 日本遺産フェスティバル (今治市) で PR 活動 (10月) ・ 「秋の高知探求 聖地巡りと自然美満喫の旅」(西遊旅行) への組み込み (11/14) 7名参加 ・ 「月刊たる 11月号」日本遺産特集への掲載 (11月) ・ 「一店一品」運動 HP 掲載開始 (12月) ・ ジオラマ動画の完成 (12月) ・ 産業振興アドバイザー (課題解決型) を活用した協議会体制の見直し等に向けた協議 (4回 : 9/11、10/16、11/25、1/21) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自走に向けた方向性、戦略の策定 ⇒ 産業振興アドバイザー (課題解決型) からの指導・助言等をもとに、自走に向けた戦略づくりや協議会体制の見直しを進めていく。 ・ 訴求力あるイベント企画及び情報発信の強化 ⇒ 第6回ゆずフェス及びゆず林鉄 expo2021 開催 ⇒ 中芸の見所 100選の選定、「一店一品」運動の実施による情報発信 ・ 旅行ツアー商品の開発及びガイドの育成 ⇒ 東部観光協議会と連携した旅行商品の開発 ⇒ 自転車を活用した体験メニューの造成 ⇒ ガイド研修の実施
<p>■ No. 21 室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興 (室戸市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ・ 室戸市 ◎ ・ (一社) 室戸市観光協会 	<p>[指標]</p> <p>(1) 室戸市主要施設訪問者数</p> <p>出発点 (H30) : 805 千人</p> <p>直近値 (R元) : 812 千人</p> <p>到達目標 (R2) : 820 千人</p> <p>目標 (R5) : 850 千人</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・室戸ジオパーク推進協議会 ・日本ドルフィンセンター ・室戸黒潮協同組合 ・(一社)うみ路 ・NPO 法人日本ウミガメ協議会 ・土佐備長炭窯元炭玄 ・民間事業者 	<p>(2) 室戸世界ジオパークセンター来館者数 出発点 (H30) : 87,318 人 直近値 (R 元) : 68,782 人 到達目標 (R2) : 90,000 人 目標 (R5) : 90,000 人</p> <p>(3) 室戸ドルフィンセンター来場者数 出発点 (H30) : 27,624 人 直近値 (R 元) : 26,650 人 到達目標 (R2) : 30,000 人 目標 (R5) : 30,000 人</p> <p>(4) むろと廃校水族館来館者数 出発点 (H30) : 168,333 人 直近値 (R 元) : 150,210 人 到達目標 (R2) : 135,000 人 目標 (R5) : 121,200 人</p> <p>(5) MUROTObase55 (旧ライダーズイン) 利用者数 出発点 (H30) : - 直近値 (R 元) : 76 人 到達目標 (R2) : 5,656 人 目標 (R5) : 6,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 室戸市主要施設訪問者数 (R2) : 506,288 人 (対前年度比 : 62%) ※新型コロナウイルスの影響から訪問者数減</p> <p>(2) 室戸世界ジオパークセンター来館者数 (R2. 12 月末) : 33,560 人 (対前年同期比 : 59%) ※新型コロナウイルスへの対応のため 4/11~5/17、 12/28~1/11 の期間について休業</p> <p>(3) 室戸ドルフィンセンター来場者数 (R2. 12 月末) : 13,524 人 (対前年同期比 : 58%) ※新型コロナウイルスへの対応のため 4/18~5/17 まで 休業</p> <p>(4) むろと廃校水族館来館者数 (R2. 12 月末) : 55,049 人 (対前年同期比 : 43%) ※新型コロナウイルスへの対応のため 4/18~5/17 まで 休業</p> <p>(5) MUROTObase55 (旧ライダーズイン室戸) 利用者数 (R2. 12 月末) : 宿泊 815 人、食事 589 人 ※新型コロナウイルスへの対応のため 4/16~</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>5/31 まで食事休止、4/16～6/30 宿泊休止</p> <p>○室戸市主要観光施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊企画（スタンプラリー）実施 <ul style="list-style-type: none"> MUROTO くじらリー開催（7/18～9/30、10/1～1/17） ・教育旅行の受入（9/22、9/27、10/15、10/23） ・観光担当地域おこし協力隊（4名）募集 <ul style="list-style-type: none"> →2名採用開始、計4名着任（12月～） ・県観光アドバイザーによる周遊・滞在型観光に関する研修会開催（10/19） ・室戸市観光協会を主体としたコロナ対策及び事業者スキルアップ研修の実施（2月予定～） ・旧椎名小学校体育館活用検討委員会開催（12月～） <p>○室戸世界ジオパークセンター・ジオパークガイド利用者数（R2.12月末）：1,241人（対前年同期比：30%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク次期実行計画策定会（6/12） ・ジオパーク推進協議会総会（7/8） <ul style="list-style-type: none"> 室戸世界ジオパークセンター展示リニューアル・企画、他のジオパーク特産品の相互販売等を協議 ・SNS活用による情報発信（随時） ・新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金を活用した室戸市特産品などを販売する、ジオパーク推進協議会ECサイトのリニューアル及び室戸世界ジオパークセンターのコロナ対策支援（12/14 交付決定） ・ワーケーションプログラムのモニターツアー実施（11/29～12/2） <p>○室戸ドルフィンセンター・周遊企画参加（くじらリー、シイラない魚介、ニコニコランドセル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市日曜市出店 ・SNS活用による情報発信（随時） ・室戸市応援キャンペーン（2/1～3/31）（室戸黒潮協同組合） <ul style="list-style-type: none"> レストラン、直販所の利用者数（R2.10月末）：28,811人（対前年同期比：46%） ※新型コロナウイルスへの対応のため4/20～5/15まで休業 ・SNS活用による情報発信 <p>○むろと廃校水族館・SNS活用による情報発信（随時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外プール日除の設置（6月）

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント・企画の実施 「あなたのシイラない魚介（スタンプールラリー）」 ニコニコランドセル（室戸ドルフィンセンター・桂浜水族館と連携） ・年末年始イルミネーション企画（12/19～1/3） ・「サバらしい日々（飲食・宿泊施設等連携キャンペーン）」（2/1～3/8 予定） <p>○MUROTObase55（旧ライダーズイン室戸）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光創生塾への参加（担当地域おこし協力隊） ・SNS 活用による情報発信（随時） <p>MUROTObase55 と周辺施設などが連携した周遊メニューの検討</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設間連携による周遊・滞在型観光への転換 ⇒観光・宿泊・飲食事業者等との協議の場の設置 ⇒ツアー造成やスタンプラリーの内容強化の検討 ⇒高知県観光コンベンション協会や東部観光協議会との連携による、ツアーの磨き上げや旅行会社等への売り込み強化 ・ジオパークガイドの人材確保及びツアーの磨き上げ ⇒ガイド養成講座などによるジオツアーの磨き上げ ・MUROTObase55 の安定運営 ⇒周辺施設等との連携メニューの造成 ・コロナ禍における観光入込客数等の回復 ⇒観光施設等緊急整備事業費補助金の活用 室戸ドルフィンセンター・MUROTObase55 の整備
<p>■No. 22 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進（安芸市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・安芸市</p> <p>◎・（一社）安芸市観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸漁協 ・伊尾木あなごう保存会 ・内原野陶芸館 ・JA 高知県（安芸地区） ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・廊中ふるさと館 ・メリーガーデン 	<p>[指標]</p> <p>(1) 市内年間観光客数</p> <p>出発点（H30）：278,442 人</p> <p>直近値（R 元）：254,496 人</p> <p>到達目標（R2）：280,000 人</p> <p>目標（R5）：300,000 人</p> <p>(2) 市内年間宿泊者数</p> <p>出発点（H30）：25,726 人</p> <p>直近値（R 元）：25,062 人</p> <p>到達目標（R2）：25,900 人</p> <p>目標（R5）：26,500 人</p> <p>(3) ちりめん井販売食数</p> <p>出発点（H30）：46,872 食</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・はたやま夢楽 ・安芸「釜揚げちりめん井」楽会 ・道の駅大山 ・安芸商工会議所 ・「はばたけ彌太郎」安芸市推進委員会 	<p>直近値 (R 元) : 46,736 食 到達目標 (R2) : 47,000 食 目標 (R5) : 50,000 食</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 市内年間観光客数 (R2 見込) : 152,697 人 (対前年度比 : 60%)</p> <p>(2) 市内年間宿泊者数 (R2 見込) : 20,049 人 (対前年度比 : 80%)</p> <p>(3) ちりめん井販売食数 (R2 見込) : 23,368 食 (対前年度比 : 50%)</p> <p>※(1)(2)(3)すべてについて、新型コロナウイルスの影響により、前年度より減少している。</p> <p>○三菱創業 150 周年記念事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩崎弥太郎物語 (マンガ) 制作委託 (11 月完成) <p>○岩崎家ゆかりの地 4 市区町での連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 市区町の一つ、千葉県富里市でのじゃこの日給食の実施 (6 月) ・ぢばさん市場で「岩崎家ゆかりの地」フェアの開催 (12/1~20) <p>○地域食材を活用した誘客の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市施設園芸品消費拡大委員会 HP においてナス料理提供店 17 店舗掲載 ・ナス料理等提供店への誘客を図るスタンプラリーの実施 (11~1 月) ・産業振興アドバイザー (課題解決型) を活用し、伊尾木あなごう保存会が伊尾木洞観光案内所周辺の魅力向上策について協議 (5 回 : 12/21、1/4、1/19 ※2 月、3 月に 1 回ずつ実施予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内周遊観光の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒民間事業者と連携した市内周遊・体験型観光メニューの開発 ⇒観光創生塾受講による体験型観光メニューの磨き上げ ⇒伊尾木洞を訪れる観光客等の満足度向上につなげる取り組みの具体化 ・コロナ禍における観光推進の在り方 <ul style="list-style-type: none"> ⇒感染防止対策の実施など新しい生活様式に沿った形で

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>実施可能なイベント等の開催や観光メニューについて関係者で協議</p>
<p>■No. 23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進（東洋町）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・（一社）東洋町観光振興協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町 ・地元マリンスポーツ等関係事業者 ・宿泊事業者 	<p>[指標]</p> <p>体験者数</p> <p>出発点（H30）：465人</p> <p>直近値（R元）：3,162人</p> <p>到達目標（R2）：3,500人</p> <p>目標（R5）：5,000人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>体験者数（R2見込）：2,956人（対前年度比：93.5%）</p> <p>※新型コロナウイルスへの対応のため4/25～5/31まで生見海岸駐車場閉鎖</p> <p>○体験プログラムの磨き上げ・開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興協会職員（地域おこし協力隊）1名が観光創生塾を受講 ・海上アスレチック実施に向けた部会の開催（2回） ・南四国アイランド活性化協議会などにおいて、野根川等を活用した観光振興について協議（7月、12月） ・体験プログラムの見直し及び造成に係る部会の開催（10月～） <p>○海上アスレチックの開催（8/1～8/24）</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツの充実 <ul style="list-style-type: none"> ⇒海上アスレチックのバージョンアップの検討など体験プログラムの磨き上げ及び造成 ⇒野根川地域の観光振興策の強化 ・広報活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒関西地域における観光PR ・体験型観光における新型コロナウイルス感染症の予防対策 <ul style="list-style-type: none"> ⇒新しい生活様式に基づいた感染予防対策の周知及び実施 ・東洋町全体の観光振興 <ul style="list-style-type: none"> ⇒野根川流域、DMV（デュアル・モード・ビークル）目的の観光客も含めた一体的な観光振興の推進

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 24 DMV (デュアル・モード・ビークル) を活用した観光振興 (室戸市、東洋町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(一社) 東洋町観光振興協会 ◎・東洋町 <ul style="list-style-type: none"> ・阿佐海岸鉄道(株) ・東洋町商工会 ・NPO 法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト ・(一社) 高知県東部観光協議会 ・室戸市 	<p>[指標]</p> <p>東洋町主要施設訪問者数</p> <p>出発点 (H30) : 231,780 人</p> <p>直近値 (R 元) : 258,497 人</p> <p>到達目標 (R2) : 245,000 人</p> <p>目標 (R5) : 250,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>東洋町主要施設訪問者数 (R2 見込) : 197,783 人 (対前年度比 : 76.5%)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響により、前年度より減少している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南四国アイランド活性化協議会において、DMV を活用した観光振興について協議 (7 月、12 月) ・あさチェン推進会議において、パンフレットや PR 動画、モニターツアー、みやげ物などについて協議 (10 月) ・甲浦駅の改修 (12 月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客受入態勢の整備 ⇒あさチェン推進会議にて、観光マップの作成・配布、みやげ物の試作・販売、レンタサイクルなど二次交通の検討、体験プログラムの充実、広報活動、運行開始カウントダウンイベント、運行開始セレモニー等の実施などを検討等 ・甲浦駅の魅力向上 ⇒遊休地や駅舎の活用策の検討
<p>■No. 25 奈半利町の観光施設の誘客強化による交流人口の拡大 (奈半利町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(一社) なはりの郷 ◎・奈半利町 <ul style="list-style-type: none"> ・藤村製糸(株) 	<p>[指標]</p> <p>(1) 記念館来館者数 (1~12 月)</p> <p>出発点 (H30) : 1,000 人</p> <p>直近値 (R 元) : 1,013 人</p> <p>到達目標 (R2) : 1,125 人</p> <p>目標 (R5) : 1,500 人</p> <p>(2) 海浜センター利用客数</p> <p>出発点 (H30) : 562 人</p> <p>直近値 (R 元) : 567 人</p> <p>到達目標 (R2) : 926 人</p> <p>目標 (R5) : 2,000 人</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 記念館来館者数 (R2 見込) : 740 人 (対前年度比 : 73%) ※新型コロナウイルスの影響による来館者数の減少</p> <p>(2) 海浜センター利用客数 (R2 見込) : 400 人 (対前年度比 : 70.5%) ※新型コロナウイルスの影響による教育旅行受入数の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入人数の制限付きで海浜センターの営業再開(5/16～) ・高知県地域観光振興交付金を活用した奈半利町ふるさと海岸の施設整備 (R2 年度は、昨年度策定した奈半利町観光基本構想をもとに、基本計画及び基本設計の策定を行う) ⇒高知県地域観光振興交付金の交付決定 (6 月) ⇒奈半利町観光基本計画及び基本設計業務公募型プロポーザルの実施 (7 月末) ⇒奈半利町観光基本計画策定 WG の実施 (8～12 月) ⇒専門家による町内観光施設等の視察 (9 月) ・高知県観光施設等緊急整備事業費補助金を活用したマリンアクティビティ及びサンゴ船用の備品購入 (12/28 交付決定) ・SNS を活用した情報発信の強化 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと海岸の施設整備 ⇒基本計画及び基本設計に基づく整備の着実な実施 ・集客力アップに向けた取り組み ⇒海浜センターを拠点とした体験メニューの充実・磨き上げ ⇒ふるさと海岸の整備も含めた多方面の情報発信によるファンの獲得
<p>■No. 26 安田川アユおどる清流キャンプ場の再整備による交流人口の拡大と地域の活性化 (安田町)</p> <p>《実施主体》 ◎・安田町</p>	<p>[指標]</p> <p>キャンプ場利用者数</p> <p>出発点 (H30) : 2,527 人 直近値 (R 元) : 3,201 人 到達目標 (R2) : 3,000 人 目標 (R5) : 6,000 人</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取り組み状況]</p> <p>キャンプ場利用者数 (R2 見込) : 53 人 (対前年度比 : 1.6%)</p> <p>※コロナの影響により 4/20 から閉鎖中 引き続き、改修工事のため、今年度中は閉鎖予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県地域観光振興交付金交付決定 (5/25) ・再整備工事開始 (9月着工、R3.3月完了予定) ・キャンプ場設置及び管理に関する条例制定 (12月) ・来年度指定管理者の公募を実施 (1月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客サービスの向上への取り組み ⇒周辺観光施設等との連携による相互誘客の仕組みづくりの検討 ⇒大手アウトドアメーカーとの提携内容の協議
<p>■No. 27 北川村観光3施設の誘客強化による 交流人口の拡大 (北川村)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(株)きたがわジャルダン ◎・北川村 <ul style="list-style-type: none"> ・北川村観光協会 ・北川村中部地区集落活動協議会 ・NPO 法人中岡慎太郎先生顕彰会 	<p>[指標]</p> <p>各施設入園 (館) 者合計数 (4~3月) 出発点 (H30) : 94,350 人 直近値 (R元) : 98,585 人 到達目標 (R2) : 100,000 人 目標 (R5) : 108,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>各施設入園 (館) 者合計数 (R2 見込) : 66,000 人 (対前年同期比 : 66.9%)</p> <p>※各施設とも新型コロナウイルスの影響により、来場者が減少している</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北川村「モネの庭」マルモッタン : 50,000 人 (対前年同期比 : 68.0%) <ul style="list-style-type: none"> ・モネの庭内の「ボルディゲラの庭」オープン (5/16) ・「モネの庭プレミアムキャンドルナイト」の開催(9/12) ・「光のフェスタ in モネの庭 2020」の開催 (10/31~12/13 までの土日) ○中岡慎太郎館 : 3,600 人 (対前年同期比 : 57.0%) <ul style="list-style-type: none"> ・4/1~14 リョーマの休日関連企画「北川村あの日あの時Ⅱ」の開催 ・企画展「幕末人の筆跡ー漢詩・和歌にあらわれる感情ー」の開催 (8/5~10/26) ○北川村温泉ゆずの宿 : 12,400 人(対前年同期比 : 66.1%)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響による入園（館）者数の減少 ⇒村外に向けた観光情報等の発信力強化のために北川村観光協会ホームページを改修 ⇒集客に向けた取り組みの強化として、北川村観光協会及び(株)きたがわジャルダン職員が観光創生塾への参加を通じて造成した観光商品の販売
<p>■No. 30 集落活動センターやなせを拠点とした馬路村魚梁瀬地区の活性化（馬路村）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・集落活動センターやなせ運営協議会</p> <p>・馬路村</p>	<p>[指標]</p> <p>観光客入込数</p> <p>出発点（H30）：4,853人</p> <p>到達目標（R2）：5,435人</p> <p>目標（R5）：6,300人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>観光客入込数（R2見込）：2,734人(対前年度比：53.8%)</p> <p>※各施設とも新型コロナウイルスの影響により、来場者が減少している。(各施設4/18～5/31臨時休業)</p> <p>※やなせの湯は、老朽化に伴う工事により、4/18から年度内休業予定。</p> <p>○集落活動センターの事務局体制強化のため、4月より集落支援員1名増員（計2名）</p> <p>○集落活動センターによる観光施設の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業務（魚梁瀬森林鉄道乗車体験等及び魚梁瀬森林公園オートキャンプ場）の受託（4/1～） ・指定管理施設のコロナウイルス感染防止対策 ⇒中山間地域振興アドバイザー派遣（7/27） <p>○新事業の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民福祉部会による先進地視察実施（8/1、2） ・うちんくのビジネス塾の活用（8/18、9/17、10/19、11/6） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組む新事業の早期確定と着実な実施 ⇒現在検討中の事業の早期絞り込みと事業実施体制等の整理 ・指定管理施設のコロナウイルス感染防止対策 ⇒アドバイザーの指導を着実に実施し、防止に努める。

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 31 集落活動センターげいせいを拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり (芸西村)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・集落活動センターげいせい</p> <p>・芸西村</p>	<p>[指標]</p> <p>加工品等販売額</p> <p>出発点 (H30) : 108 万円</p> <p>直近値 (R 元) : 180 万円</p> <p>到達目標 (R2) : 260 万円</p> <p>目標 (R5) : 500 万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>加工品等販売額 (R2 見込) : 222 万円 (対前年度比 : 123.3%)</p> <p>※加工部会の活動が本格化したため、前年度より増加している。</p> <p>○商品 (黒糖を活用したスイーツ) の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新加工場の稼働開始 (6 月) ・商品統一ロゴ作成 (6 月) ・新たなロゴを活用した商品販売 (7 月) ・商品紹介冊子作成 (10 月) <p>○外商の基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生協会による HACCP 専門家派遣 (6 月、7 月) ・真空パック機導入 (7 月) により、賞味期限を伸ばし、芸西村のふるさと納税返礼品として出品 (11 月) ・まるごと高知に黒糖ミルクバターを出品 (1 月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工商品の収益の向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒かっぱ市におけるフェアの開催 ⇒原材料の見直しや作業効率の向上による費用の縮減 ⇒商談会参加やインターネット販売による販路の拡大 ・商品訴求力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒原材料である白玉糖のブランド力強化 ⇒アドバイザー活用による新商品開発 ⇒県版 HACCP 第 2 ステージ認証取得

2 令和2年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取り組み	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大(室戸市)</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>9/8 交付決定</p>	高知県魚種を活用した商品開発及び HACCP 対応の新工場の基本設計実施	3,370 (1,531)
<p>■No.8 室戸海洋深層水による地域産業の推進(室戸市)</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>11/2 交付決定</p>	室戸海洋深層水推進構想策定	4,000 (1,818)
<p>■古材や古物を活かした家具の開発及び地域の空き家をリノベーションしたホテル事業の構想策定並びにテストマーケティング事業(安芸市)</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>11/17 交付決定</p>	古材や古物を原材料に使った家具の試作品開発及びテストマーケティングの実施、既存建物をリノベーションした宿泊事業の構想策定	2,805 (1,275)

3 県民参画に向けた取り組み

- ・土佐 MBA や土佐の観光創生塾、観光地域づくり塾などの受講周知

4 相談案件：4件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/7	食品加工	県版 HACCP に対応した食品加工施設整備(室戸市)
2	6/10	観光	野根川地域の活性化(東洋町)
3	8/17	観光	宿泊施設の改修(芸西村)
4	11/9	食品加工	県版 HACCP への対応(室戸市)

地域産業クラスタープロジェクトの推進

地域に根差した産業を核として、その周りに様々な産業を集積させる「地域産業クラスター」の形成に取り組むことにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を創出し、若者が地域地域で働き続けられる土壌づくりを目指していきます。クラスター形成を目指す「クラスタープロジェクト」として、18のプロジェクトを位置づけており、その一つひとつに、県、市町村、関係団体等で構成する「プロジェクトチーム」を設置し、プランの策定からその実行までをサポートしていきます。

地域	分野	プロジェクトNo.・名称	取り組み概要（目指す姿）	R2年度までの取組内容	
安芸	農業	No.1 日本一のナス産地 拡大クラスタープロジェクト	県東部の基幹品目であるナスの生産拡大を目指して、新技術の定着や担い手対策を進める。また、ナスの機能性表示を生かした青果販売や新たな加工品の開発・販売及び地元飲食店等での利用促進に取り組む、クラスターの形成を図る。	これまでの取組 (H28～R元)	日本一のナス産地の維持・発展のため、最新技術の研究及び導入から新規参入まで一貫した支援を実施。また、ナスを活用した新たな加工品やメニューの開発に取り組むとともに、道の駅大山や地元飲食店等による販売促進を行ってきた。
		関連する地域AP		No.2 日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト	R2年度の取組